

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		平和事業費 [平和事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	事業番号	7			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	社会教育 課 生涯学習 係					課長名	高田 匡章				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	5 - 4				
【施策名】 地域を超えたパートナーシップの確立						総合計画書 (ページ)	113				
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市民の人数(平成31年4月1日現在)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
市民が平和の大切さを感じる状態				平和事業施策に対する市民の満足度							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①平和月間の周知(市報掲載・HP・横断幕掲出) ②平和市民のつどいの開催 ③平和文集の発行(年度版) ④平和祈念・戦争資料展の開催 ⑤日本国憲法(冊子)の配布 ⑥平和資料の貸出 ⑦戦争体験映像記録の普及 ⑧地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業の実施				①市報掲載回数、HP掲載回数、横断幕掲出箇所数 ②開催回数 ③発行部数 ④開催回数 ⑤配布冊数 ⑥貸出回数 ⑦戦争体験映像記録の貸出回数及び東大和市公式動画チャンネルの視聴回数 ⑧実施回数							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,857	85,698	85,337					
	成果指標	②の数値	%	15.5	17.0	集計中					
	目標	②の目標値	%					17.7			
目標値設定の考え方											
市民意識調査において「恒久平和の実現について」の市民の満足度の上昇を目指す。令和3年度の目標値を17.7%としている。											
3 経費	活動指標	③の数値		①1回・1回・3箇所②1回③1,000部④1回⑤528冊⑥0回⑦5回及び589回⑧1回	①1回・1回・3箇所②1回③1,000部④1回⑤400冊⑥0回⑦3回及び172回⑧1回	①1回・1回・3箇所②1回③1,000部④1回⑤20冊⑥2回⑦2回及び285回⑧1回					
	事業費(実績)		円	3,515,705	3,725,402	4,159,757	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,342,113	1,444,771	928,002					
		特定財源	円	2,173,592	2,280,631	3,231,755					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	8,267,000	8,244,000	8,310,000					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	11,782,705	11,969,402	12,469,757						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成14 年度								
	(2) 環境の変化 戦争体験者の市人口に占める割合が減少しており、それに伴い身近な環境で戦争の悲惨さを語り継げる機会も失われつつある。										

事業名称	平和事業費 [平和事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について (地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業に参加した小・中学生からの意見) ・この事業に参加して平和の重要性を感じられて良かったと思います。 ・これから平和のために自分たちにできることは、まず身近なクラスの仲間と仲良くすること、そして過去にあった戦争について語り継いでいくことだと思います。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)			
	☒ 取り組んだ	取組手法：②、③、④、⑥(広報媒体：市報、HP、ツイッター、事業報告書(冊子))⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 周知に工夫を行っているところだが、戦争体験者が高齢となり、当事者から戦争の悲惨さを語り継ぐ機会を設けることが困難である。また、平和文集における戦争体験記の応募数も減少傾向にある。 徐々に認知度が高くなっている「旧日立航空機株式会社変電所」については、今後も平和のシンボルとして周知に努め、保存していく重要性を広めていく。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 高齢者施設、老人クラブ等を回り、平和文集への寄稿等の周知を行った。 また、戦争を知らない若い世代に「平和市民のつどい」に参加してもらうため、キャンドルシェード教室及び平和関連絵本の読み聞かせを行い、周知を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 平和文集については、戦争体験者からの寄稿数を増やすため、文字数が少ない「ミニ作文」等の募集を検討する。 また、引き続き「平和市民のつどい」、「平和月間」等のイベントを通じて、旧日立航空機株式会社変電所の知名度の向上を図る。			
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 地域を超えたパートナーシップの確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 戦争を知らない世代が、戦争と平和について学び・考える機会を設け、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていくことのできる社会を醸成する。 戦災建造物である「旧日立航空機株式会社変電所」を保存し、その存在を伝えていくことで、平和のシンボルとしての建物が東大和市にもあることを周知していく。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 種々のイベントにおいて、旧日立航空機株式会社変電所の周知を図る。 ※令和2年度は、平和市民のつどいにおいて、変電所の壁面を利用したプロジェクションマッピングを実施予定。			